

I 次の文章を読んで、下記の問いA、Bに答えよ。

現代においても、旅行は様々な目的で行われるが、古代・中世においても旅の様相は多様であった。交通が未発達であった古代においては、軍事的な目的や、官人の地方支配のための旅行が多かったと考えられ、『万葉集』にも多くの旅に関わる歌が収録されている。また、律令制下においては、それぞれの国ごとに国司が置かれていたから、原則として4年ごとに、任命された者はそれぞれの任国へと下っていった。鎌倉時代に制作された『因幡堂薬師縁起絵巻』には、11世紀初頭に因幡国の受領国司として下向する橋行平が、郎等たちを引き連れて峠道を馬や輿で越えていく様子が描かれている。

中世に入ると、旅の目的も大きく様変わりしてくる。その特徴のひとつとして、熊野詣や布教を目的とした僧侶の旅など、宗教性を帯びた旅が多くなっていく点が挙げられるだろう。13世紀後半に活動した一遍は、熊野の本宮に参籠した際、熊野権現より諸国で念仏札を配り歩くようにとの神託を受け、陸奥から大隅に至るまでの全国をAとして歩いた。踊念仏という独特の布教方法もこの過程で生み出されたものであった。また、京都の相国寺で禅を学んだ雪舟は、周防の大内氏の庇護を受け、遣明船に乗って寧波から北京へと旅する中で水墨画の技法を学んだ。帰国後は、大内氏の城下町・山口を拠点にしつつ西日本から美濃・出羽などにも足を伸ばし、『四季山水図巻』などの傑作を残した。彼にとっての絵と旅は、宗教的な実践の一環であったのである。

こうした全国レベルでの旅が可能となったのは、中世に入つてめざましく発達した交通の諸条件によるところが大きい。既に鎌倉時代から、地方においても地元の特産品や米などが売買される定期市が各地に成立し、京都からこれら地方の市へと商品を運ぶ商人やBが増えてきたことにより、街道などの整備が進み、室町時代には東海道・山陽道などの大動脈にそって宿場町も形成されるようになっていった。また、陸上の道ばかりでなく、河海を利用した水上交通もめざましい発達をみせ、京都と大阪湾を結ぶ淀川沿いには、最も多い時で400ヶ所に及ぶ水上の関が置かれ、そこで徴収される関銭は、幕府や公家の重要な経済基盤となった。

A 下記の問い1～7の答えをア～オから選び、マーク解答用紙に記せ。

1. 下線部aについて、『万葉集』に収録されていない歌人は誰か。

ア 小野老      イ 大伴旅人      ウ 小野篁      エ 山部赤人      オ 舎人親王

2. 下線部cに関連して、誤っているものはどれか。

- ア 熊野詣の目的地である熊野三山は、修験者たちによる行場として霊場化していった。
- イ 熊野三山のうちの本宮は、本地垂迹説に基づく阿弥陀仏の浄土と認識されていた。
- ウ 上皇らにならって、天皇・貴族たちも繰り返し参詣した。
- エ 全国を遍歴する熊野比丘尼によって熊野の霊験が語られた。
- オ 鎌倉時代以降には、武士や庶民の参詣も盛んになった。

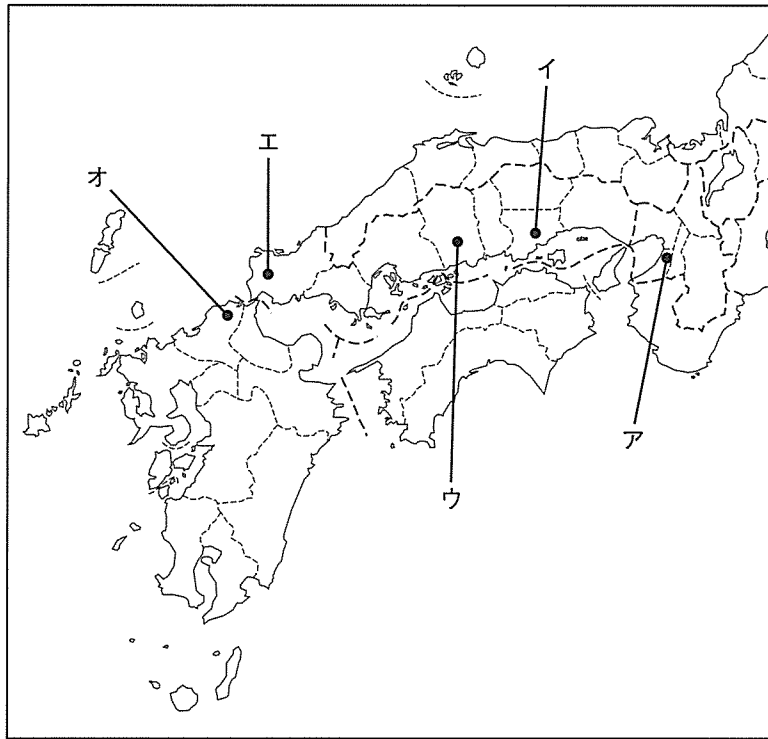
3. 下線部dの人物についての説明として、誤っているものはどれか。

- ア 仏を信じる者はもちろん、信じない者でも、念仏を唱えれば極楽往生できると説いた。
- イ 京都などの大都市では、踊屋と呼ばれる二階建ての舞台が設営されて踊念仏が行われた。
- ウ 一遍に同行し、またその死後は師の教えを諸国に広めていった者たちを時衆と呼んだ。
- エ 一遍は死の直前に自らの著作を焼いてしまったが、死の直前に弟子たちが制作した『一遍上人絵伝』がその行状を伝えている。
- オ 身分を問わず布教した一遍のもとには、乞食・非人などの被差別民も救済を求めて集まってきた。

4. 下線部 e について、誤っているものはどれか。

- ア 遣明船は木造で、ムシロを使って帆を立て、船腹には櫓を漕ぐための台が取り付けられていた。
- イ 15世紀の後半には細川氏・大内氏が貿易の主導権を握るようになり、雪舟が乗った遣明船も大内氏が派遣したものであった。
- ウ 大内氏は博多商人と、細川氏は堺商人と結んで貿易の利益を得た。
- エ 貿易の主導権を争った大内氏と細川氏は、寧波で激しい武力衝突を起こした。
- オ 寧波の乱の後、貿易の主導権は細川氏が握ることとなり、細川氏の滅亡とともに勘合貿易は断絶した。

5. 下線部 g に関連して、一遍が訪れたことのある市場で、『一遍上人絵伝』にもその様子が描かれている市場はどこか。



6. 空欄 **B** には主に港湾都市などにおいて物資の中継や運送を担った専門業者を意味する語が入る。この語は何か。

- ア 問丸    イ 借上    ウ 供御人    エ 梶取    オ 神人

7. 下線部 h に関連して、河海を通行する船舶に課せられた税は次のうちのどれか。

- ア 祠堂銭    イ 津料    ウ 分一銭    エ 段銭    オ 国役

B 下記の問について、記述解答用紙に漢字で記せ。

8. 下線部 b の橘行平は因幡守として下向したが、一般的に国司には守・介・掾・目があった。受領が守である場合、介以下の国司を何と呼ぶか。漢字4字で答えなさい。

9. 空欄 **A** には、一遍が諸国を行脚しつつ説法や教化などを行う宗教的活動を意味する語句が入る。この語句を漢字2字で答えなさい。

10. 下線部 f に関連して、大内氏の庇護のもと山口で活動していた朱子学者の桂庵玄樹を招いたのは島津氏と何氏か。

Ⅱ 次の【史料1】および【史料2】を読み、下記の問いA、Bに答えよ。

【史料1】

世間の広き事、国々を見めぐりて、はなしの種をもとめぬ。……筑前<sup>①</sup>の国にはひとつをさし<sup>に</sup>荷<sup>ひ</sup> [二人でになうこと] の大<sup>おお</sup>蕪<sup>わら</sup>有<sup>ら</sup>。豊後<sup>②</sup>の大竹は手桶となり、わかさの国に<sup>③</sup>三百余歳のしろびくに [白比丘尼] のすめり。近江<sup>④</sup>の国堅田に七尺五寸の大女房も有<sup>ら</sup>。丹波<sup>⑤</sup>に一丈式尺のから<sup>⑥</sup>鮭の宮あり。松前に百間つゝきの荒和布有<sup>ら</sup>。阿波<sup>⑦</sup>の鳴戸に<sup>⑧</sup>竜女<sup>りゅうにょ</sup>のかけ硯あり。加賀<sup>⑨</sup>のしら山に<sup>⑩</sup>ゑんまわう [閻魔王] の巾着もあり。信濃<sup>⑪</sup>の寝覚の床に浦嶋が火うち<sup>ほこ</sup>篭あり。……是をおもふに人はばけもの、世にない物はなし。……

奈良の都……しほらしく住なして、明暮、茶湯に身をなし、……かくれもなき楽助 [気楽な身の上の人] なり。ある時、此里のこごかしき者ども、朝顔の茶の湯をのぞみしに、兼々日を約束して、万にこゝろを付て、その朝七つよりこしらへ、此客を待に、……昼前に来て、案内をいふ。

【史料2】

京の人心何ぞといふ時は、大気なる事、是まことなり。……過し秋京都に於て加賀の金春勸進能を仕りけるに、四日の<sup>⑫</sup>棧敷一軒を銀拾枚づゝと定めしに、皆借切て<sup>あきど</sup>明所 [空席] なく、しかも能より前に銀子渡しける。……

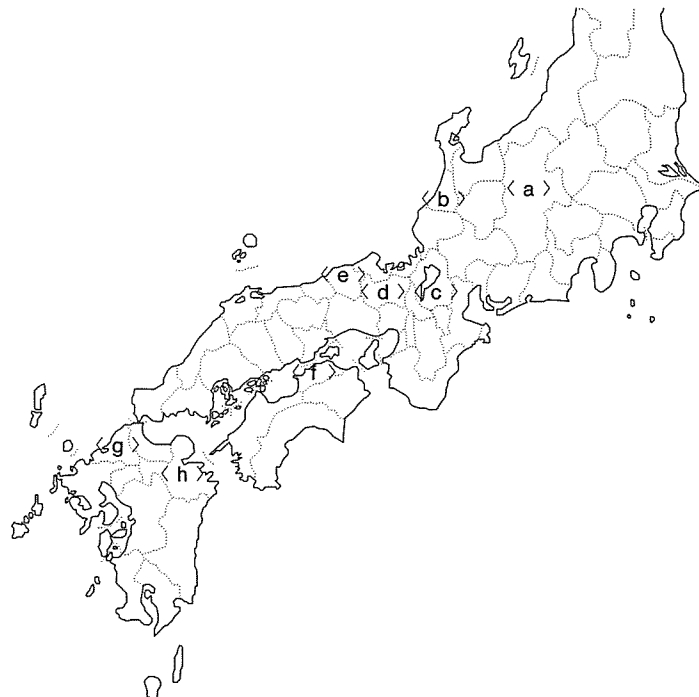
諸国の神々毎年十月出雲の大社ろに<sup>⑬</sup>集り給ひて民安全の相談あそはし、国々への<sup>としとく</sup>年徳の神極め、春の事ともを取りそぎ給ふに、京江戸大坂三ヶの津へのとし神は中にも徳のそなはりしを<sup>⑭</sup>ゑらみ出し、……さて一<sup>⑮</sup>国一城の所……はんじやうの里々……其外都には<sup>しまずみ</sup>るかに嶋住、ひさしのひとつ屋までも餅つきて松たつる門に春のいたらんといふ事なし。……

年の波……水<sup>⑯</sup>の音さへせはしき十二月廿九日の夜の<sup>とら</sup>下り船、旅人つねよりいそぐ心に<sup>⑰</sup>乗合て、……船頭も春しりがほにて……<sup>とら</sup>纜ときて京橋をさげける。……

細もとでなる糸商売の人、此二十年も<sup>⑱</sup>長崎<sup>とら</sup>たりして万事人にすぐれて……何とぞして唐人のおろかなるをたらし、よきあきなひ事もがなとあけくれこゝろにかく。

A 下記の問い [i] ~ [viii] の答えを、[i] は〈a〉~〈h〉から、[ii] ~ [viii] はそれぞれ〈a〉~〈e〉から選び、マーク解答用紙に記せ。

[i] 下の地図上の〈a〉~〈h〉のうち、下線部①②③④⑤⑦⑧⑨の国名のいずれにも対応していないものはどれか。2つ選びなさい。



- [ii] 江戸時代、各地に特産品が生まれた。下線部⑧で成立した手工業品はどれか。  
 <a> 有松絞 <b> 西陣織 <c> 春慶塗 <d> 九谷焼 <e> 黄八丈
- [iii] 下線部⑥を含む広い意味での蝦夷地についての記述として誤っているものはどれか。  
 <a> 1590(天明5)年、北方の有力者である安藤氏が上京し、豊臣秀吉から蝦夷島主の朱印状を受けた。  
 <b> 交易では、和人から米・酒・塩・反物などがもたらされ、アイヌの獣皮や海産物などと交換された。  
 <c> 1785(天明5)年、幕府から調査隊が派遣され、その調査結果は『蝦夷拾遺』としてまとめられた。  
 <d> 1799(寛政11)年、幕府が東蝦夷地を直轄化した時の将軍は徳川家斉であった。  
 <e> 戊辰戦争において箱館で新政府軍と戦った榎本武揚は、1875(明治8)年、駐露公使として日露間の樺太・千島交換条約を締結した。
- [iv] 時法についての記述として誤っているものはどれか。  
 <a> 安土桃山時代に西洋の時計がもたらされ、その後、不定時法に対応する和時計が作られるようになった。  
 <b> 下線部⑩の「七つ」というのは、時刻を知らせる時鐘の打数である。  
 <c> 下線部⑩は、日の出からおよそ2時間後である。  
 <d> 1日を100分割する時刻の定め方もあった。  
 <e> 1872(明治5)年、1日を24時間とすることが定められた。
- [v] 下線部⑫は銀430匁である。これは、1700年に幕府が定めた金貨と銀貨の交換比率によれば、おおよそ金何両に相当するか。  
 <a> 4両 <b> 7両 <c> 10両 <d> 13両 <e> 16両
- [vi] 幕府が諸大名に下線部⑭を命じた年およびその前後2年、計5年間の出来事でないのはどれか。  
 <a> 豊臣秀頼の死去 <b> 日光東照社の造営 <c> 高山右近の国外追放  
 <d> 駿府における銀座設置 <e> 伊達政宗による遣欧使節派遣
- [vii] 下線部⑮は大坂へ向かう乗合船の光景である。京都・大坂間の舟運と関係ないものはどれか。  
 <a> 高瀬川 <b> 角倉素庵 <c> 過書奉行 <d> 伏見 <e> 弁財船
- [viii] 下線部⑯に見られるような生糸貿易を管理するため、幕府は、1609(慶長9)年、糸割符制度を設けた。これについての記述として誤っているものはどれか。  
 <a> 当初の目的は、ポルトガル商人との取引を統制することであった。  
 <b> 幕府は、初め、堺・長崎・大坂の商人に糸割符仲間を組織させ、後に、江戸と京都を追加し、五カ所糸割符仲間とした。  
 <c> 糸割符という取引方法は、日本独自のものではなかった。  
 <d> 幕府は、1655(明暦元)年に糸割符制度を廃止したが、1685(貞享2)年に再興した。  
 <e> 江戸時代中期以降、生糸の国内生産量が漸増し、輸入生糸の重要性が低下したため、糸割符制度は次第に形骸化していった。

B 下記の問い [ix] [x] [xi] の答えを記述解答用紙に漢字で記せ。

[ix] 【史料1】と【史料2】は両方ともに、俳諧師として知られ、また仮名草子に新生面を開き、浮世草子の創始者となった人物の作品である。それは誰か。

[x] 下線部⑩を大成した人物の作として知られている京都府大山崎にある国宝の茶室をなんというか。漢字5文字で記せ。

[xi] 下線部⑬の巫女を名のる人物が17世紀の初め頃に創始した芸能をなんというか。漢字5文字で記せ。

Ⅲ 次の【史料1】および【史料2】を読み、下記の問いA、Bに答えよ。

【史料1】

全国の高三千万石に過ぎず、而府県の管轄する処は八百万石とす。其二千二百万石は各藩の管轄たり。此大数を公算して全国守衛保護会計の標準とし正しく按算せずんば、兵制何に由て更張するを得んや、百事何に依て振興するを得んや、二は国権何に依て更張するを得んや。国権立(い)ずんば何時か独立不羈の姿柄を備へ万国と並立して対等の交際を遂るを得んや……此其实を挙る所以にして、而其更張振興せしむる基礎財政の一致にある也。故に旧政を改め弊事を去り、無用不急の秩禄を削り、曠土浮民なからしめ、用に節し費を省き、其会計を公策し政府に供せざるべからず。(え)

【史料2】

今や我邦の商工業は、旭日の東天に昇るの勢に在り。而して其最も大なる影響を全国の経済社会に及ぼす者は、即ち鉄道事業なること、疑いを入れず。全国都市の変動は、必然諸地方の職業並に物産上に大変動を与え、将来の経済社会に革命的一新の機を来すは、固より鉄道より生ずる結果として、予めこれを覚悟せざるべからず。鉄道事業は我国における新事業なり。其如何なる有様に於て地方の経済に影響すべきやは、實際上の重要問題にして、又頗る難問なるべし。然れども目今の趨勢を見れば、鉄道事業は到る処に勃興し、民有線路各地に布設せられんとす、殆んど鉄道熱の高点に達したりと云ふも過言に非ざるが如し。此時に乘じ、鉄道事業に従事する者は勿論、之に向て資本を投ずる者、之が制度を整理する者、又鉄道を利用する一般の人民は、宜しく厳に警戒して妄動を慎むべし。(く)

A 下記の問い(1)～(8)の答えを(a)～(e)から選び、マーク解答用紙に記せ。

(1) 下線部(あ)に関連した以下の出来事の起った順番について正しいものはどれか。

- ① 開拓使の廃止      ② 県令の任命      ③ 肥前藩主の版籍奉還出願      ④ 家禄支給の開始  
(a) ④→①→③→②      (b) ①→②→③→④      (c) ③→④→②→①  
(d) ②→③→①→④      (e) ②→①→④→③

(2) 下線部(い)に関連する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。

- (a) 1871年に着工した富岡製糸場は、フランスから輸入した新鋭機械を用いて生糸の生産を行った。  
(b) 明治政府は、1871年に新貨条例を定め、翌年には初の円単位の紙幣である太政官札を発行した。  
(c) 1877年には内務省の主権により上野で第1回内国勸業博覧会が行われた。  
(d) 明治政府は、旧藩営の高島、三池などの炭鉱を接収し、官営事業として経営した。  
(e) 1873年の徴兵令では、官吏、陸海軍学生、官立専門学校以上の学生、洋行修行中の者、戸主とその相続者、代人料270円以上の上納者は兵役が免除された。

(3) 下線部(う)に関係する著作物とその作者または訳者の組み合わせのうち、誤っているものはどれか。

- (a) 泰西国法論・加藤弘之      (b) 西国立志編・中村正直      (c) 天賦人權論・馬場辰猪  
(d) 万国公法・西周      (e) 五日市憲法草案・千葉卓三郎

(4) 下線部(え)に関連して、金禄公債証書が発行されて秩禄が全廃された年に起った出来事を以下の中から2つ選べ。

- (a) 地租改正条例の公布      (b) 秋月の乱      (c) 江華島事件  
(d) 秩禄奉還の法の制定      (e) 国立銀行券の兌換停止

- (5) 下線部(お)に関連し、日本の産業革命に関する①から④の出来事の起った順番として正しいものはどれか。
- ① ガラ紡の発明      ② 日本郵船の設立      ③ 三井鉱山の設立      ④ 工場払下げ概則の制定
- (a) ②→①→④→③      (b) ①→②→③→④      (c) ④→②→③→①
- (d) ①→④→②→③      (e) ④→③→①→②
- (6) 下線部(か)に関連する以下の記述のうち、誤っているものを2つ選べ。
- (a) 日清戦争頃から中国、朝鮮への輸出が増加した綿糸は、1897年には輸出量が輸入量を上回った。
- (b) 1878年に建設に着手した官営の愛知紡績所は、落成をみることなく1882年に民間に払い下げられた。
- (c) 日本が採用していた銀本位制は、銀に対する金の価格が下落する局面では、欧米諸国への輸出を増やし、輸入を減らす効果を持っていた。
- (d) 国産の繭を原料とする生糸輸出は、外貨獲得のため重要な役割を果たした。
- (e) 1867年に操業を開始した鹿児島紡績所で、初めて洋式の機械が導入された。
- (7) 下線部(き)に関する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。
- (a) 明治政府は、新橋・横浜間の鉄道敷設のため、英国から100万ポンドの借入れを行った。
- (b) 神戸・下関間の全通に続いて門司・熊本間が開通し、熊本から東京まで鉄道の旅が可能となった。
- (c) 路面電車は、1895年に京都で開業したのに続き、1903年には東京でも開業した。
- (d) 日本橋・新橋間に鉄道馬車が開通する以前は、銀座通りを乗合馬車が走っていた。
- (e) 甲武鉄道は当初、新宿・八王子間に敷設され、後に延伸、電化されて日本初の近郊電車となった。
- (8) 下線部(く)に関連する以下の記述のうち、誤っているものはどれか。
- (a) 日本鉄道会社は、華族の出資によって設立され、政府の保護を受けていた。
- (b) 東京駅は、英国に留学した辰野金吾によって設計された。
- (c) 第1次西園寺内閣は、産業振興とともに軍事的な観点からも全国鉄道網の統一的管理を目指し、鉄道国有法を公布した。
- (d) 官営の東海道線の東京・神戸間が全通した年には、営業キロ数で官営鉄道が民営鉄道を上回っていた。
- (e) 1911年末から1912年正月にかけて東京市電のストライキが行われ、約6000人が参加した。

B 下記の問い(9)～(11)の答えを記述解答用紙に漢字で記せ。

- (9) 秩禄のうち、明治維新の功労者に与えられたものの名称は何か。
- (10) 【史料2】の著者は米国留学中にキリスト教徒となり、帰国後は労働組合や政党の結成などの活動を行った後に再渡米、その後ロシアに渡り、そこで生涯を閉じる。この史料の著者の氏名を記せ。
- (11) 1898年に結成された鉄道職員の労働組合の名称は何か。

IV 次の【史料1】、【史料2】、【史料3】を読み、【表1】を参照して、下記の問いA、Bに答えよ。

【史料1】

斯かる次第で日本は今日、同盟条約の義務に依って参戦せねばならぬ立場には居ない。条文の規定が、日本の参戦を命令するやうな事態は、今日の所では未だ発生しては居ない。ただ一は、( 1 )からの依頼に基く同盟の情誼と、一は、帝国が此機会に( 2 )の根拠地を東洋から一掃して、国際上に一段と地位を高めるの利益と、この二点から参戦を断行するのが機宜の良策と信ずる。左り乍ら、此際参戦せず、単に好意の中立を守って、内に国力の充実を図る事も一策と言ふ事ができる。

【史料2】

第1号 山東省に関する件

第1条 支那国政府は、( 2 )国が山東省に関し条約其他に依り支那国に対して有する一切の権利・利益・譲与等の処分付、日本国政府が( 2 )国政府と協定すべき一切の事項を承認すべきことを約す  
(中略)

第2号 南満州及東部内蒙古に関する件

第3号 漢冶萍公司に関する件

第4号 支那国沿岸の港湾及島嶼の不割譲及不貸与に関する件

第5号 支那国全土に関する件

【史料3】

富山県中新川郡西水橋町町民の大部分は出稼業者なるが、本年度は出稼先なる樺太は不漁にて帰路の路銀に差支ふる有様にて生活頗る窮迫し、加ふるに昨今の米価暴騰にて困窮愈其極に達し居れるが、三日午後七時漁師町一帯の女房連二百名は海岸に集合して三隊に分れ、一は浜方有志、一は町有志、一は浜地の米屋及び米所有者を襲ひ、所有米は他に売らざること及び此際義侠的に米の廉売を嘆願し、之を聞かざれば家を焼払ひ一家を斃殺すべしと脅迫し事態頗る穩かならず、斯くと聞きたる東水橋警察署より巡查数名を出勤させ、必至となりて解散を命じたるに漸く午後十一時頃より解散せるも、……。

【表1】

	実質経済	商品輸出入額 (百万円)		生産国民所得 (百万円)			労働争議件数
	成長率	輸出	輸入	第1次産業	第2次産業	第3次産業	
1906年	-0.5	439	437	1160	591	940	13
1907年	3.8	452	512	1405	611	1086	57
1908年	2.8	399	461	1408	595	1125	13
1909年	2.4	437	431	1246	645	1142	11
1910年	6.5	502	520	1133	666	1141	10
1911年	1.1	523	581	1472	776	1333	22
1912年	0.1	618	684	1758	882	1508	49
1913年	0.9	716	795	1824	854	1567	47
1914年	0.7	671	671	1482	944	1522	50
1915年	5.8	793	636	1243	1107	1532	64
1916年	8.3	1234	879	1510	1406	1800	108
1917年	9.0	1752	1201	2120	1777	2303	398
1918年	8.6	2159	1902	3289	2508	3353	417
1919年	5.0	2379	2501	5187	3483	4923	497
1920年	-0.5	2200	2681	4066	3193	4703	282

A 下記の問い1～3の答えを、イ～ホの中から選びマーク解答用紙に記せ。

1. 【史料1】は、時の首相に対してなされた外務大臣の発言である。その外務大臣は誰か。

イ 若槻礼次郎      口 井上馨      ハ 尾崎行雄      ニ 加藤高明      ホ 加藤友三郎

2. 【史料1】と【史料2】の、( 1 )と( 2 )に入る国の組み合わせはどれか。

イ イギリス, ロシア      口 フランス, ドイツ      ハ ドイツ, ロシア

ニ ドイツ, イタリア      ホ イギリス, ドイツ

3. 【史料2】に示される多くの部分を中国政府は受け入れた。その時の中国政府はどの政権か。

イ 孫文      口 李鴻章      ハ 袁世凱      ニ 段祺瑞      ホ 蔣介石

B 下記の問いを記述解答用紙に記せ。

【史料1】から【史料2】を経て、【史料3】にいたる時期の日本の経済社会状況を、120字以内で記述解答用紙に記しなさい。

その際に、【史料3】の事件が何であるかを明らかにしなさい。また、下記の語群から適切と考えられる4語を選択し、【表1】を参照して記しなさい。

(語群)

日露戦争      第1次世界大戦      日比谷焼打ち事件      シベリア出兵      成金      特需  
第2次西園寺内閣      寺内内閣

V 次の【史料1】から【史料4】は、日本の内閣総理大臣による施政方針演説の一部である。下記の問いA, Bに答えよ。

【史料1】

私は、……過去への反省を忘れることなく、世界平和の創造に力を尽くしていくことが我が国外交の原点であるということをおも一度強調したいと思います。我が国が目指すべき平和への道は、武力の行使による平和の実現ではなく、過去の痛ましい経験から得た知恵や世界に誇る技術の力、あるいは経済協力を通じた世界の平和と繁栄の実現にあります。……戦後処理の問題については、さきの大戦が我が国国民とアジア近隣諸国等の人々に多くの犠牲と傷跡を残していることを心に深くとどめ、昨年八月の私の談話で述べたとおり、平和友好交流計画や戦後処理の個別問題について誠意を持って対応してまいります。これは日本自身のけじめの問題であり、アジア諸国等との信頼を増す結果となると確信をいたしておるところでございます。

【史料2】

私は、日本を、二十一世紀の国際社会において新たな模範となる国にしたいと考えます。そのためには、終戦後の焼け跡から出発して、先輩方が築き上げてきた、輝かしい戦後の日本の成功モデルに安住してはなりません。……我々が直面しているさまざまな変化は、私が生まれ育った時代、すなわち、テレビ、冷蔵庫、洗濯機が三種の神器ともてはやされていた時代にはおよそ想像もつかなかったものばかりです。……( 1 )再生は内閣の最重要課題です。……( 1 )改革を実効あるものとするため、……改正された( 1 )基本法を踏まえ、関係法律の改正案を今国会に提出するとともに、新たに( 1 )振興基本計画を早期に策定します。



【史料3】

……長きにわたって、米国の施政権下に置かれてきた琉球諸島及び大東諸島は、本年五月十五日、わが国に復帰することになりました。……沖縄の祖国復帰は、……日米共同声明並びに沖縄返還協定にあるとおり、( 2 ) の原則のもとにその実現を見るのであります。……また、沖縄における人口密集地及び産業開発と密接な関係にある地域に存在する米軍の施設、区域については、復帰後できる限り整理縮小することについても米側の理解を得ております。このような形で、沖縄が自由を守り平和に徹するわが国の不可分の領土としてその施政権が返還されることは、アジアにおける緊張の緩和を促進し、新たな安定と秩序を築くことを可能にするゆえんであると信ずるものであります。

【史料4】

今日の世界においては、各国相互の間の依存関係が一段と高まる中で、国際社会の多元化傾向はいよいよ強まってまいりました。すでに幾つかの地域においては、国際的緊張が異常な高まりを見せ、最近では、ソ連のアフガニスタンへの軍事介入もあって、米ソ間のデタントにも微妙な変化が見られます。……同時に、国内におきましては、経済の高度成長によって、豊かな生活を実現することができましたが、その成長の後遺症として公害、資源の制約、都市の過密化など深刻な問題をもたらし、人間関係にも、さまざまなひずみが生じております。経済の高度成長を支えた条件はすでに過去のものとなり、加うるに、社会の高齢化も進み、産業の構造や生活の様式もこれを改めなければならない状態に立ち至っております。

A 下記の問い1～8の解答をあ～おから選び、マーク解答用紙に記せ。

1. 【史料1】から【史料4】を年代順に並び変えたときの順序として正しいのはどれか。

- あ 1-2-3-4      い 3-4-1-2      う 4-3-2-1  
え 3-4-2-1      お 2-1-4-3

2. 【史料1】の演説を行った首相の政権に参加していた政党はどれか。

- あ 新党さきがけ      い 公明党      う 共産党      え 社会民主党      お 新生党

3. 下線部 a の談話から一年後に、この首相は改めて談話を発表した。この談話について正しいのはどれか。

- あ 日本の戦争が侵略であることを否定した。  
い 日本の侵略は謝罪したが、植民地支配は謝罪しなかった。  
う 日本の植民地支配は謝罪したが、侵略は謝罪しなかった。  
え 日本の植民地支配と侵略を反省し謝罪した。  
お 日本の植民地支配と侵略の賠償を行うことを約束した。

4. 下線部 b の時代の出来事でないものはどれか。

- あ ソ連が最初の人工衛星の打ち上げに成功した。  
い 『少年マガジン』、『少年サンデー』などの週刊漫画雑誌が創刊された。  
う 日本住宅公団が発足し、集合住宅の建設が進んだ。  
え 原子力基本法が制定された。  
お 湯川秀樹が日本人最初のノーベル賞を受賞した。

5. 空欄 ( 1 ) に入る言葉は何か。

- あ 安全保障      い 産業      う 金融      え 教育      お 文化

6. 空欄（ 2 ）に入る言葉は何か。

- あ もはや戦後ではない      い もたず・つくらず・もちこませず      う 核抜き本土並み  
え 聖域なき構造改革      お 美しい国

7. 下線部 c に該当するのはどれか。

- あ 辺野古基地      い 横田基地      う 長沼基地      え 普天間基地      お 岩国基地

8. 【史料 4】の演説を行った首相についての記述として誤っているものを 2 つ選べ。

- あ 一般消費税の導入を閣議決定したが、実現しなかった。  
い 「日本型福祉社会」, 「田園都市国家」, 「文化の時代」といった理念を打ち出した。  
う 第二次臨時行政調査会を発足させ、行政改革に取り組んだ。  
え 「三角大福」と呼ばれる自民党のリーダーの一人であった。  
お 日中平和友好条約を結んだ。

B 下記の問い 9～11 の解答を記述解答用紙に記せ。

9. 【史料 2】の演説を行った首相はのちに第二次内閣を組織し、独自の経済政策を進めた。その政策を何と呼ぶか。

10. 【史料 3】の演説を行った首相は誰か。漢字で記せ。

11. 【史料 4】の演説を行った首相が直面していた国際的な問題の一つは第二次石油危機であった。この危機の原因となった革命の起こった国はどこか。

[以下余白]

早稲田大学 政治経済学部  
2017年度 入試問題の訂正内容

<政治経済学部 一般入試>

【日本史】

問題冊子5ページ：設問Ⅱ 問[viii] 問題文1行目

(誤)

～、幕府は1609（慶長9）年、・・・

(正)

～、幕府は1604（慶長9）年、・・・

以上